

令和4年度 市民の声を聴く会

フリートークの主な意見及びアンケート結果

日 時 ; 令和5年2月13日(月) 16時00分から

場 所 ; まちライブラリー@ちとせ

千歳市議会

～はじめに～

千歳市議会では議会運営委員会を中心に議会改革を行い、議会活動及び議員活動の活性化、透明化を行ってきています。

市民の声を聴く会は平成24年から始まり、今年度で10回目を数える事業です。昨年開催予定だった第9回は新型コロナウイルス感染症の急激な拡大により中止を余儀なくされましたが、今年度は社会状況を鑑みながら、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を行い開催することが出来ました。

今年度はテーマを『議会と選挙』としました。このテーマは中止となった第9回の市民の声を聴く会で使用するテーマでありました。これは平成28年6月に選挙権が18歳に引き下がってから、初となる千歳市議会議員選挙が行われましたが、若年層の投票率が低く直接若年層にお話を聞き、更に議会や議員に興味を持って頂くことを目的に当時決定をしておりました。その後の令和4年に行われた参議院選挙においても若年層の投票率の低さが目立ち、今年度末には統一地方選挙も行われる事から、今一度、若年層との意見交換も必要と考え、第10回のテーマを第9回と同じ『議会と選挙』に決定致しました。

このような理由から参加者を若年層へターゲットを絞り、市内にある2つの高校と3つの大学へ参加依頼を行い、又、会場も高校生や大学生が集まりやすく、且つ、リラックスして話ができるよう千歳駅に隣接する「まちライブラリー」を実施会場としました。更に開催時間も学生が集まりやすい16時に設定するなど、工夫を凝らしたところ、当日は飛び入り参加も含む多くの学生や主婦層など含む、定員30名を上回る人数の参加者にご参加致しました。

第一部では議会及び選挙に対し、参加者へ理解を深めて頂くと共に興味を持って頂けるようPPTを使用しプレゼンテーションを行い、第二部では少人数でのグループに分かれてグループトークを行いました。1時間近くに及ぶグループトークでしたが、活発な意見が飛び交い、トーク時間を若干延長するなど盛況に終えることが出来ました。頂いた貴重なご意見や疑問を、今後の議会及び議員活動の糧とさせていただきます。

新型コロナが完全に収束したわけではありませんが、感染対策を行い対面で出来たことは、質問や意見に熱もこもり良い結果に繋がったと感じます。ご協力頂いた各教育機関の皆様、議員及び事務局の皆様、そして何より参加頂いた皆様に感謝申し上げ冒頭のご挨拶と致します。

千歳市議会 議会運営委員会 委員長 山口 康弘

第10回市民の声を聴く会 グループトークの主な意見

テーマ	フリートーク
テーマの概要	①参加者の議会と選挙に関する自由な意見を聞く ②共通テーマ ・若い世代の投票率を上げるには？ ・若い世代の議員の担い手を増やすには？

グループ番号	1
担当議員	古川議員、相沢議員（議席番号順）
参加者の主な意見	自己紹介後、高校生からの疑問に答えるスタイルとした。 前半の選挙の説明を受け、投票率の低さに驚いたとの高校生の声に対し、なぜだと思うかと問うたところ、「行くのが面倒なのでは」「何の選挙かも、私たちにはよくわからない」との回答があった。また、生徒会の選挙については、無投票であり、なかなか立候補者が増えないと聞き、地方議会と同じであると感じた。 議員の人数についての質問が出たので、その人数の推移について説明をした。また、政務活動費の大切さと、その金額の推移について話した。 生徒から、「防衛省の補助金があると聞いているが、給食センターの建て替えに使えないのか」との質問があった。防衛省の補助金については、何にでも使えるわけではなく、用途が決まっていると回答した。 空港で利用できる商品券が昨年配布されたが、空港から遠い人、また交通手段が限られる人にとって無駄だったのでは、また、他の方法があったのでは、との質問に対しては、「空港を活性化するための呼び水」としてのものだったこと、また、他の方法については今後検討の余地があり、若いアイデアをこれからも聞かせてほしいと結んだ。
まとめ	生徒から、「ぜひまたこのような意見交換の場を設けてほしい」との声をもらった。充実した意見交換となった。

グループ番号	2
担当議員	五十嵐議員、今野議員（議席番号順）
参加者の主な意見	大学生3名と一般参加1名の方が参加。 投票率の低い世代である10代、20代の方に対し、どうしたら政治や選挙に関心をもってもらえるのかご意見やご要望を伺いながら話し合った。 若い方たちは、テレビや新聞等あまり見ていないので、ニュースはもちろん見ていない。主に SNS で情報を得ている。SNS では、自分の関心のあることしか検索していないので、関心をもたない政治や選挙については、ニュースに触れる機会が少なく、選挙があったとしても知らない。そのため選挙にも行かない。期日前投票を市役所や商業施設等で行っており、投票の機会が増えているが、それを知る機会が少ないため、やはり選挙には行かない方が多い。 どうしたら関心をもつようになるのか、SNS で発信していくのであれば、フェイスブックは30代以上の方がやっており、10代、20代の方はインスタグラムやツイッターが多いので、インスタグラムやツイッターを利用したほうが良いとの意見。それも、投稿だけでなく、ストーリー機能も活用して、例えばストーリーで写真や短い文だけ載せ、何だろう？と興味が湧けば投稿へ促していく導線を作っていくことが大事。議員個人であれば、堅苦しい内容ではなく、自分の人となりから少しずつ議会活動へとつなげていく導線を作っていくこと。議会としてであれば、いきなり議会のことだけを載せるのではなく、千歳の良さ等を発信しながら議会への導線を作っていくっていいのではないかという意見があった。 千歳市議会だよりについて、文字が多すぎて読む気にならないと厳しい意見があった。もう少し字を減らし、どういう質問をしたらどういう答弁が返ってきたのか、簡潔に載せてほしいとのこと。 議会中継やユーチューブについては、議会中継は仕方ないが、ユーチューブに関しては、ただ流すのではなく、どんな質問をしているのか、どんな答弁をしているのか、何の質問に対しての答弁なのか等、テロップを入れたほうが良いのではないかと意見があった。 千歳科学技術大学では、千歳学といって千歳の歴史を学ぶ授業があるとのこと、そのような場で一緒に学ぶ等、議員と学生の関わりをもっと増やしていくのも良いのではないかという意見があった。
まとめ	政治や選挙はどこか遠いもの、自分たちには関係のないものではなく、自分たちの生活に影響を及ぼす身近な存在であることを知ってもらえるよう、SNSの活用も含め、直接会って話す機会を設ける等もっと若い方たちに寄り添っていくような活動をしていくことがとても大事であるということを学んだ。

グループ番号	3
担当議員	大山議員、落野議員（議席番号順）
参加者の主な意見	【なぜ投票に行かないのか】 ・ そもそも、選挙があることを知らない。 ・ 市民の声を聴く会にきて、初めて統一地方選挙があることを知った。 ・ 投票所は近くにあるのかも知れないけど面倒くさい。 ・ 候補者の 2, 3 人しか知らない。 ・ 地方から進学のため来ているが、住民票を移すまでもない。 ・ 一人一人の政策をみて調べるのは大変である。自分の中で理解するのに時間がかかる。 ・ 家族がいれば投票に行くが、一人暮らしでは投票に行かない。 ・ 知らない人に投票するのはいかなものかと思う。選挙の自由がある。 ・ 特に不満がない。 【解決策について】 ・ 議会の取り組みを SNS、HP、新聞、ちゃんと、で広報したらよいと思う。 ・ 新聞は読まないでインスタグラムのストーリーにのせたほうが良いと思う。 ・ 教育機関でも選挙広報を出したらよい ・ 選挙公報に記載の名前をクリックするとマニフェストが出るようにする。 ・ 候補者と会うことができれば、知ることができ、投票のきっかけとなる。 ・ 議員と話ができるセミナーのようなものがあればよい。 ・ 就職活動時にある、企業説明会のようなブースを各議員用に設置する
まとめ	候補者や議員に直接会うことができたり、各種メディア媒体で知ることができれば、関心が高まり、選挙への投票行動につながるものと思います。

グループ番号	4
担当議員	飯田議員、松隈議員（議席番号順）
参加者の主な意見	【選挙について】 ・ オンライン投票がやりやすい。10～20 代の多くの学生は足がない。（千歳市・向陽台は）交通の便が悪い。 ・ 事前投票が昔よりやりやすくなったけれども。 ・ 若い時は体力が使える仕事、頭を使う仕事（議員）は 40 代、50 代から。 ・ 「議員のなり方」がわからない。選挙の費用など。就職先を選択するときは調べてより良い方を選ぶが…。結局お金に余裕ができてからか…。 ・ 女性の方が子育てなど地域の状況をよく知っている。女性がもっと立候補する方がよい 【議会について】 ・ 女性の割合をせめて 5 対 5 に。 【市政について】 ・ 少子化問題に対応するには、子どもの安全等を大切にする政治が必要。 ・ （向陽台は）道路の白線等が消えかかっている。街灯が少なく暗い。 ・ （向陽台は）バス賃が高い。IC カードが使えない。 ・ 自衛隊基地が多い千歳市における有事の際のシェルター等の整備は？結婚子育てには安定した収入（仕事）が必要だが、千歳に仕事はない。
まとめ	参加者（学生）は選挙に関しては十分関心はあるが、投票率をあげる為の施策、問題点の声も多かった。市民の声を聴く会で、議員と話ずことができ良かったとの意見もあり、良い声であった。

グループ番号	5
担当議員	岩満議員、宮原議員（議席番号順）
参加者の主な意見	【テーマ内容（選挙・議会の仕組）に関連する意見と質問】 ■意見 ・投票率をあげるために、各議員がSNSをもっと活用してはどうか。 ・投票所をもっと増設してはどうか。 ・議員のことがよくわからないため、投票意欲に繋がらない。 ・投票所に貼ってある候補者一覧に、候補者の URL を載せてはどうか。 ・航空大学校の臨時投票所の閉まる時間が早かったため投票できなかった。時間の幅を広げてほしい。学生が行きやすい昼休み時間を把握して、そこに集中して行けるような周知をしてはどうか。 ・高齢者の投票率が高いので、候補者の政策が若者向けになっていないのではないか。 ・そもそも、投票に行かなくても生活はできる。 ・他市に市議会議員の親戚がいるが、興味は無い。 ・国会議員はもっと教育施策に興味を持って欲しい。 ■質問 ・行政の監視機能とはどういうものか？ ・行政の監視機能が働いているかどうか確認できる媒体はあるか？ ・議会では全会一致を目指すとのことだが、難しいケースはあるか？ 【テーマ内容以外の質問や要望など】 ■質問 ・政務活動費の金額と使い道について ・議員が参加する研修などはどんな内容なのか ■要望 ・航空大学校は向陽台の端にあり、路線バスでの通学が難しいため、バスを通して欲しい。 ・向陽台の道路整備をしっかりと欲しい。特に泉沢大通りの歩道のアスファルトはひどい。
まとめ	選挙に関しての意見は、若者らしく今の時代に即したものが多かった。投票権利を持っていることを自覚してもらうための工夫は必要と感じた。議会や議員の活動に関しては、身近に感じてもらうことで今後も興味を持ってもらえるのではないかと感じた。

グループ番号	6
担当議員	渡部議員、松倉議員（議席番号順）
参加者の主な意見	【今回の市民の声を聴く会についての感想】 ・選挙結果の推移を、昭和からのデータで示していたのは面白かった。 ・今回のように、もっと議員と触れ合える機会があると良い。 ・千歳の議会を知ること、地元(出身地)の議会と比べることができる。 【選挙、議会について】 ・投票率の低い理由は、議会と議員が身近に感じられないから興味がわかないから。 ・そもそも何がまち(市)の問題となっているかがわからない。 ・まちの課題など、ネガティブな情報も出してほしい。 ・寮生活をしており、現在まちで何が起きているかわからない。 ・選挙の時は、ポスターのスローガンで選ぶ。 ・ネットで候補者の情報を得て投票している。 ・10代の投票率は低いと感じている。 ・選挙が始まると周り選挙の話題は出ている。 ・普段、議員がどのように市民の声を聞いているのかわからない。 【市政への要望事項】 ・給付金は助かった。 ・千歳神社前の国道は2車線と思っていたが、実は1車線でわかりにくい。 ・観光客など初めて市内を車で走る人が多いのか、運転が荒い人が多い。 ・千歳は空のまちのイメージが強かったが、空港とまちの距離感を感じる。 ・将来、航空関係の整備士として働きたいが、整備士の仕事は空港を選ばないので、就職先は千歳空港以外の選択肢もあり得る。 ・千歳空港はアクセスが悪く、けして働きやすい場所ではない。
まとめ	当グループの出席者は航空大学校の生徒達であり、全員が市外からの転入(寮生活)者であった。 寮生活をしていることもあり、まちで何が起きているのかもわからないとの発言もあったことから、これまで千歳市議会は身近な存在ではなかったと思われる。千歳市の課題などについては、積極的に意見を述べてくれた。

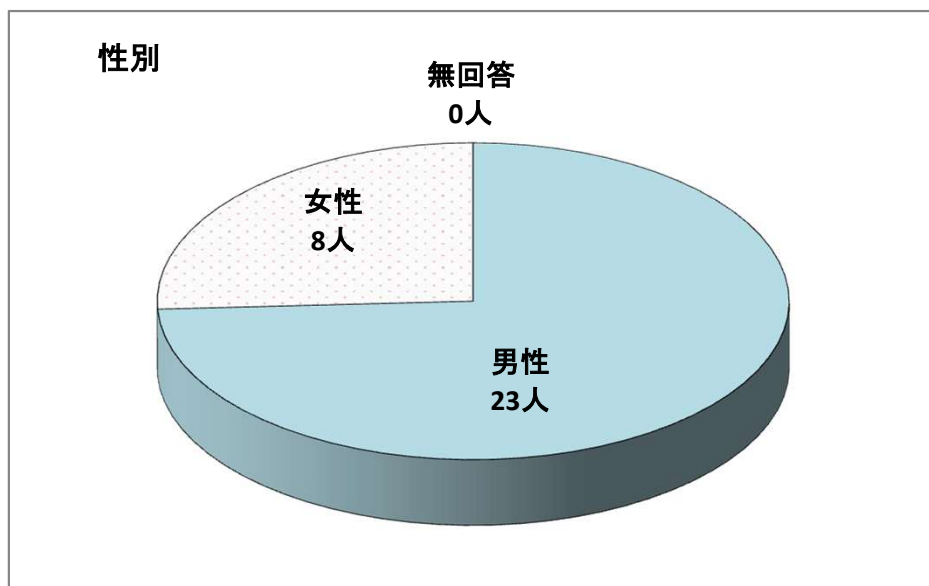
テーブル	7
担当議員	北原議員、北山議員（議席番号順）
参加者の 主な意見	・ 学校で議会や議員が身近に感じられる授業をやる。関心を持ってもらう。 ・ 議員が身近な存在であることを大人が伝える。 ・ 自分の票が役に立っていることを実感してもらう。 ・ 議会だよりを漫画にする。 ・ 議会・議員を知っているか？という投げかけ。 ・ 議員の仕事を体験（小・中学生）。総合的学習時間の活用。 ・ 小学生のうちから、議会、議員に慣れてもらう。 ・ 学級委員の選挙と同じであることを実感してもらう。
まとめ	1. まちづくり 他のまちの良いところを積極的に取り入れようとする意見や賑わいづくりに通じる意見が多かった。 良いものを育てる環境が必要。 2. 選挙（若い人に選挙に行ってもらう。） ・ 近親者による誘いなど、選挙に関心を持ってもらう。 ・ 学校での教育の場において、議会や議員が身近存在であることを伝える。 ・ 小学生のうちから、議員の仕事を知ってもらう。

～ アンケート結果 ～

参加者33名、アンケート回答31名(回答率94%)

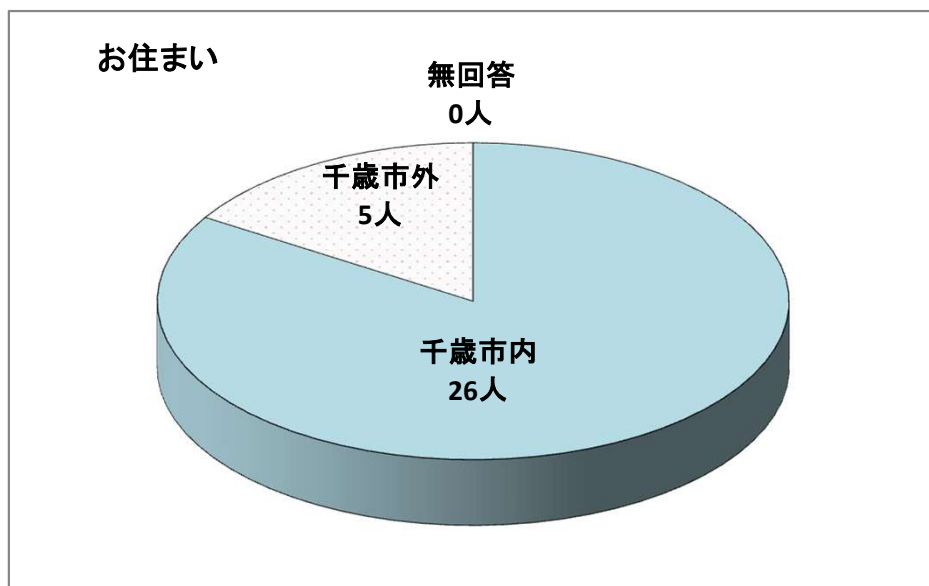
問1 性別を教えてください。

項目	人数(人)	割合(%)
男性	23	74.2
女性	8	25.8
無回答	0	0
計	31	100



問2 お住まいを教えてください。

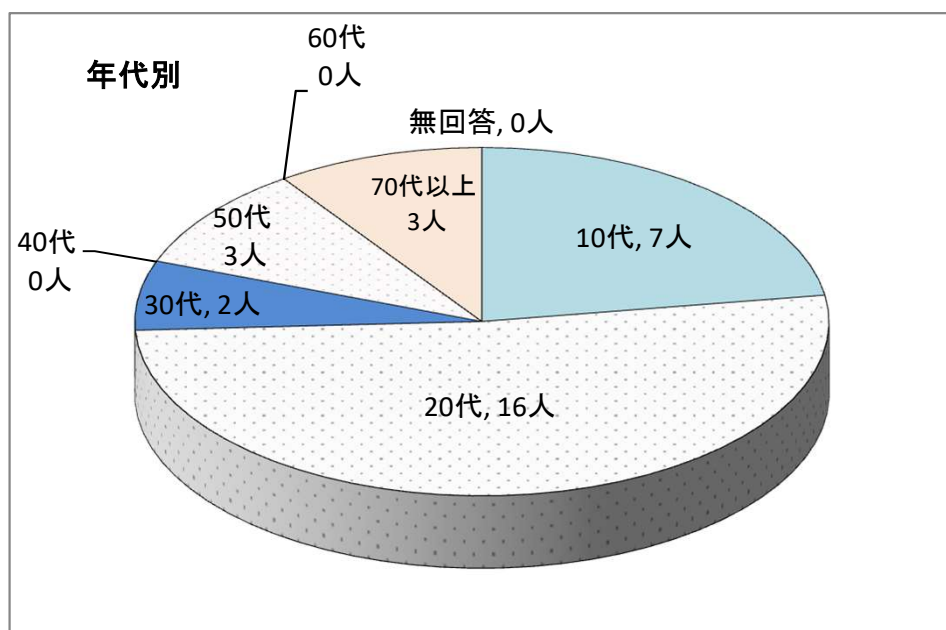
項目	人数(人)	割合(%)
千歳市内	26	83.9
千歳市外	5	16.1
無回答	0	0
計	31	100



千歳市外の内訳
恵庭市2人、長沼町1人、札幌市1人、不明1人

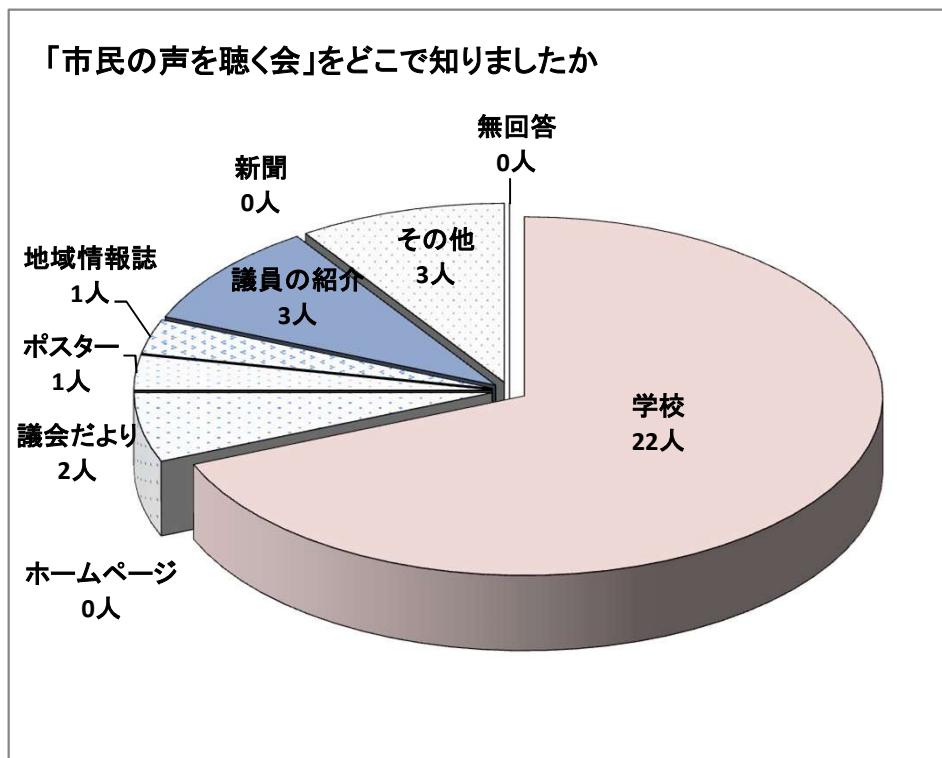
問3 年代を教えてください。

項目	人数(人)	割合(%)
10代	7	22.6
20代	16	51.6
30代	2	6.4
40代	0	0
50代	3	9.7
60代	0	0
70代以上	3	9.7
無回答	0	0
計	31	100



問4 「市民の声を聴く会」をどこで知りましたか。(複数回答可)

項目	人数(人)	割合(%)
学校	22	68.8
議会だより	2	6.2
ホームページ	0	0
ポスター	1	3.1
新聞	0	0
地域情報誌	1	3.1
議員の紹介	3	9.4
その他	3	9.4
無回答	0	0
計	32	100

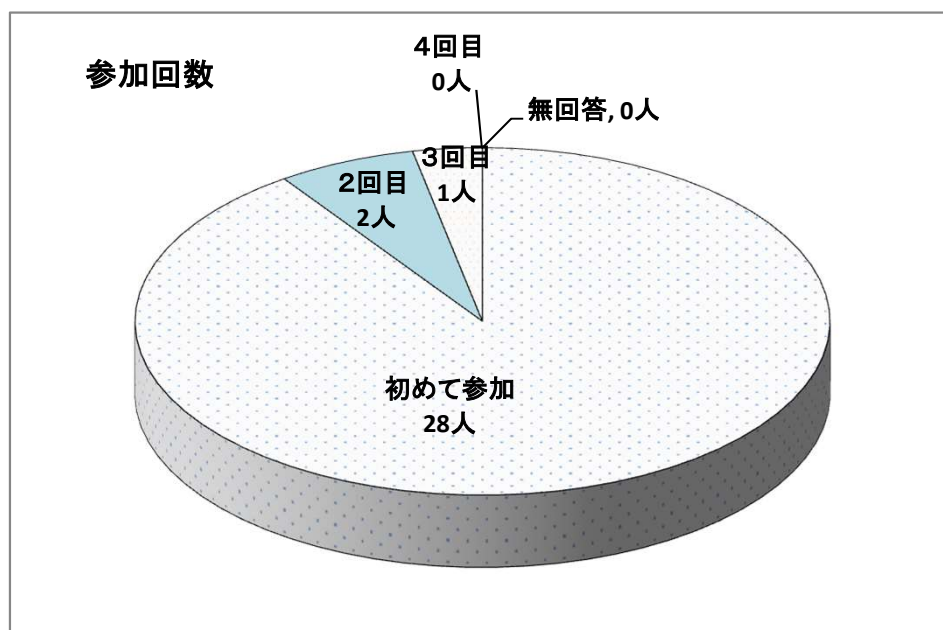


その他の回答

- ・たまたま立ち寄って(2人)
- ・友人から

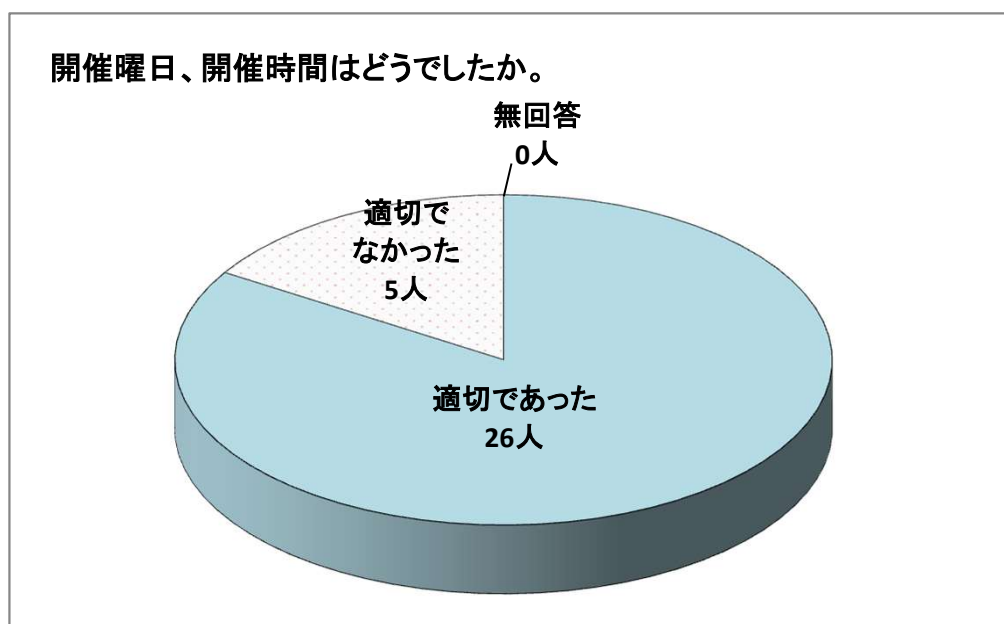
問5 市民の声を聴く会に参加したことがありますか。

項目	人数(人)	割合(%)
初めて参加	28	90.3
2回目	2	6.5
3回目	1	3.2
4回目	0	0
無回答	0	0
計	31	100



問6 開催曜日、開催時間はどうか。

項目	人数(人)	割合(%)
適切であった	26	83.9
適切でなかった	5	16.1
無回答	0	0
計	31	100



※「適切でなかった」と回答された方は、次のどの日程がよいと思いますか。

項目	人数(人)	割合(%)
平日(日中)	0	0
土日・祝日(日中)	3	60
土日・祝日(夜間)	1	20
その他	1	20
無回答	0	0
計	5	100

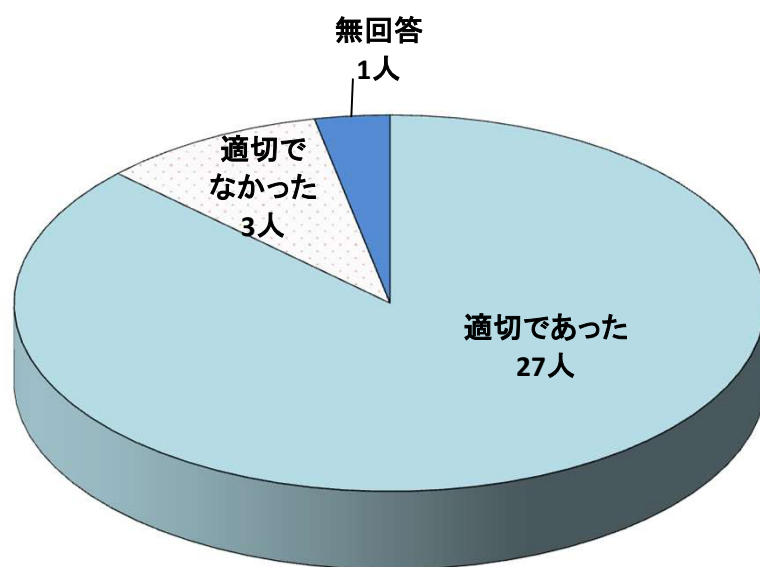
その他と回答された方の理由

・受験生がまちライブラリーで勉強している時期なので、避けるか、別の場所がよかったのではないかと思います。

問7 フリートークの進行や実施方法について、どう感じましたか。

項目	人数(人)	割合(%)
適切であった	27	87.1
適切でなかった	3	9.7
無回答	1	3.2
計	31	100

今回実施したグループトークはどうでしたか。



※「適切でなかった」と回答された方の理由

- ・市民の声を聴くがテーマなので、もう少し参加者主体である方がよいと感じた。
- ・進行の方のお話のボリュームが冒頭多く感じました。後半は話し合いができたと感じます。話しやすい雰囲気をファシリテーターさんがつくってくれるといいなと思いました。
- ・もう少し発言が分散されたらよかったように感じた。

問8 今後の開催に向けて、皆様のご意見をお聞かせください。
(取り上げて欲しいテーマや改善点など)

1	カーボンニュートラルについて興味を持っているので、議員さんと意見交換したいです。
2	千歳市の改善点そのものがあるかをテーマにしてほしい(少なくないであろう改善すべきポイントを市民から直接聴く場)。
3	テーマ:千歳市の改善点について
4	また日程が合えば参加したいです。バリアフリーや快適な生活についてのテーマを取り上げてほしいです。
5	ジェンダー 子と高齢者以外の世代へのケア(居場所のない40～60代)についての意見
6	有事に対する考え方
7	バスの運賃について(少し高い)
8	住みよい街づくりをするのには？
9	千歳市が抱えている具体的な問題があれば知りたいです。
10	更に掘り下げたテーマに絞って！
11	もう少し回数を増やしてほしい(年2回ぐらい)
12	今回のように大きなテーマを決め、自由に話せるのはよいと思った。学生からしてみたら、もう少し開始時間を遅くしてくれたら、参加できる人は増えると思う。
13	知らなかったことに気づかせて頂きました。テーブルについてくださった市議の方もフレンドリーで良かったです。
14	他にも話せる機会がほしい。学校に来て話してみるとか。多くのイベントに参加してくれる議員がいてほしい。
15	とても良い機会をご用意いただきありがとうございました。できればまた参加させていただきたいと思います。
16	もう少しこの会の頻度を増やして、直接市民の声を聴くと相互にとって利点がたくさんあると思いました。とてもためになりました。
17	千歳に住む者として改めて自分の考えを話すことができ、とても良い経験となりました。今回学んだことを周りの友人にも共有したいと思います。
18	世代間の交流ができて良かった。
19	フラットにいろいろ話せて学びも楽しさもあってよかった。
20	思っていたより議員さんとの距離が近く、直接お話を聞いていただけてとても良かったです。
21	普段思っている意見を直接話せる機会がありよかったです。
22	女性議員をもっと増やすべきだと考えます。
23	若者が多くいたので、政治へのハードルが下がってわかりやすかったです。若者に向けた会が多くあると、とても親しみやすいなと思いました。
24	直接議員のみなさんとお話しできてとても勉強になりました。もっと開催していただけたらうれしいです！
25	選挙の説明のグラフが見つらかったです。若者の意見を取り入れることが目的なようなので、平日の開催は避けた方がよいと思いました。